

ご寄附をありがとうございました

2019年3月1日～2019年5月31日

寄附金3月（敬称略）

月 日	寄附者氏名	金額（円）
3月 8日	巣鴨一丁目町会	100,000
3月14日	匿名	3,266
3月15日	日本基督教団 巣鴨教会	10,000
3月18日	特定非営利活動法人UIプロジェクト	10,000
3月20日	匿名 未使用ハガキ換金分	1,938
3月25日	池袋本町末廣町会	20,000
3月25日	匿名 未使用ハガキ換金分	40,830
3月25日	日蓮宗東京都北部社会教化事業協会	30,000
3月28日	豊島区高齢者クラブ連合会	30,000
	合計	246,034

寄附金4月（敬称略）

月 日	寄附者氏名	金額（円）
4月 1日	匿名 未使用ハガキ換金分	710
4月 2日	南大塚さくらまつり実行委員会	15,100
4月 4日	読売ボランティアセンター 朗読グループ	775
4月18日	岡野 元昭	3,000
4月28日	秋森 和	10,000
4月28日	池袋 ヨガの会	5,000
	合計	34,585



寄附物品3月～5月（敬称略）

月 日	寄附者氏名	物 品
3月15日	台湾の姉 玉 仙妃	お米125kg（佐渡産コシヒカリ）
3月19日	北林 智	お米30kg（近江米）
4月11日	特定非営利活動法人UIプロジェクト	チョコレート13袋
4月18日	株式会社 光通信	素麺3kg
5月13日	株式会社 光通信	包装米飯2箱（4食×6袋、3食×2袋）おかゆ（3食×2袋）
5月14日	豊島理容組合女性部	雑巾38枚
5月14日	匿名	お米10kg×4、カニ缶、缶スープ、ジュース、サラダ油、お茶
5月21日	株式会社 光通信	お茶1箱（静岡産新茶200g）
5月27日	株式会社 光通信	お米5kg（新潟産コシヒカリ）
5月28日	株式会社 光通信	レトルトカレー、シチュー、ハッシュドビーフ6食
5月31日	株式会社 光通信	お米3kg（北海道富良野産ゆめぴりか）

御篤志に心より感謝いたします

住まいの「困った」に寄り添います

- からだが不自由、忙しすぎるなどで引っ越し先を自力で探せない
- 所有する貸室が空き部屋だらけ…
- 近所や自分の空家が気になって仕方ない

など、住まいのことであっても不動産屋に行くのには
気が引ける方、是非ご相談ください
※空き家管理・見守り支援も承ります

Well-being.Tokyo株式会社

（池袋不動産FP事務所）

代表 柿本 志信

TEL 080-2396-4368

FAX 03-6685-8237

メール info@ikebukuro-realestatefp.com

※完全予約制 必ず先にご一報をお願い致します



ホームページ
QRコード

編集後記

元号が平成から令和に変わりました。

平成は大災害が相次ぎ困難の多い時代
でした。

令和こそ、その名にふさわしく無事

で平和な時代になって欲しいと誰もが
願っています。

人々が心を寄せ合い、助け合いなが
ら希望に満ちた新しい時代を切り開い
ていきたいものです。

（西森 すみ子）

表紙

千葉 光雄

広報委員

岡田 実（高田地区）
西森すみ子（巣鴨地区）
三輪 緑（池袋東地区）
戸澤 佳子（池袋西地区）
多田美恵子（高田地区）
大山さと子（長崎第一地区）
橘井富美江（長崎第二地区）
広瀬 孝一（社協）

発行

2019年7月

社会福祉法人

豊島区民社会福祉協議会

豊島区東池袋1-39-2

豊島区役所 東池袋分庁舎3,4階

☎03-3981-2930

デザイン・印刷：大東印刷工業株式会社

T o s h i m a F u k u s h i

豊島福祉

今月の内容

- 平成30年度 主要事業報告及び決算の概要
- 平成30年度 会費の使い道
- 地域の活動
- 社協新キャラクターの名前が決定しました
- 豊島区民生委員児童委員協議会の活動紹介
- ご寄附をありがとうございました

2019
夏
No.263 号

「さいたま市 別所沼公園」 写真…千葉 光雄



2019 summer No.263

平成30年度 主要事業報告

平成30年度 重点項目

平成30年度は、以下の4点を重点項目に掲げ、地域福祉の推進に取り組んでまいりました。

1 地域福祉活動計画に基づく豊島区版「地域共生社会」づくりの推進

小地域福祉活動の推進のために区民ミーティングを活用しています。区民ミーティングの開催日時を土日や夜間にするなどの工夫により継続的に参加する方も増え、地域活動や区民ミーティングの企画等に係る参加者が出てきました。また、町会・自治会、民生児童委員、青少年育成委員等の地縁団体のほか、学生や企業、外国籍の方等の参加も増え、協働してイベントを行う地域もあります。今後は、新しい参加者との繋がり作りや、更なる交流の推進が望まれています。

地域福祉活動の情報共有と発信では、「Story&Mapこのまちでみんなと生きてゆく」を発行し、地域で活動する人、団体を紹介しました。（社協ホームページにも掲載）

2 社協職員の人材育成と職員研修事業の拡充

東京都社協等の外部団体が主催する職層別研修を活用し、新任の局長・課長・チーフほか、3～5年目の中堅職員等から対象者を調整して、計画的な研修参加を図りました。

3 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の増員による地域共生社会づくりの推進と地域福祉活動の充実

平成30年度はCSWを増員し一層事業活動の充実に努めてまいりました。特に「地域共生」の視点を軸に、地域で生活をする区民の複雑な生活課題の相談支援やコミュニティ形成の応援を、関係機関をはじめ、区民、民生児童委員、町会、青少年育成委員、地域福祉サポーター、ボランティア団体、企業等とも連携を進めて課題解決を図ってきました。

今後、配置圏域については8圏域から12圏域に変更していくうえで、配置圏域や配置場所、配置人数等の課題を解決しなければなりません。

引き続き、地域共生社会の視点から個人や地域の生活課題を考察し、生きにくい社会から互いの尊厳を守り暮らし続ける社会を目指し一層推進を図っていきます。

4 災害ボランティアセンターの機能充実及び災害ボランティアとの連携の強化

平成30年は、6月大阪北部地震、7月西日本豪雨、9月北海道胆振地震と日本列島の各地で自然災害が発生しており、大災害への備えの重要性を再確認した1年でした。

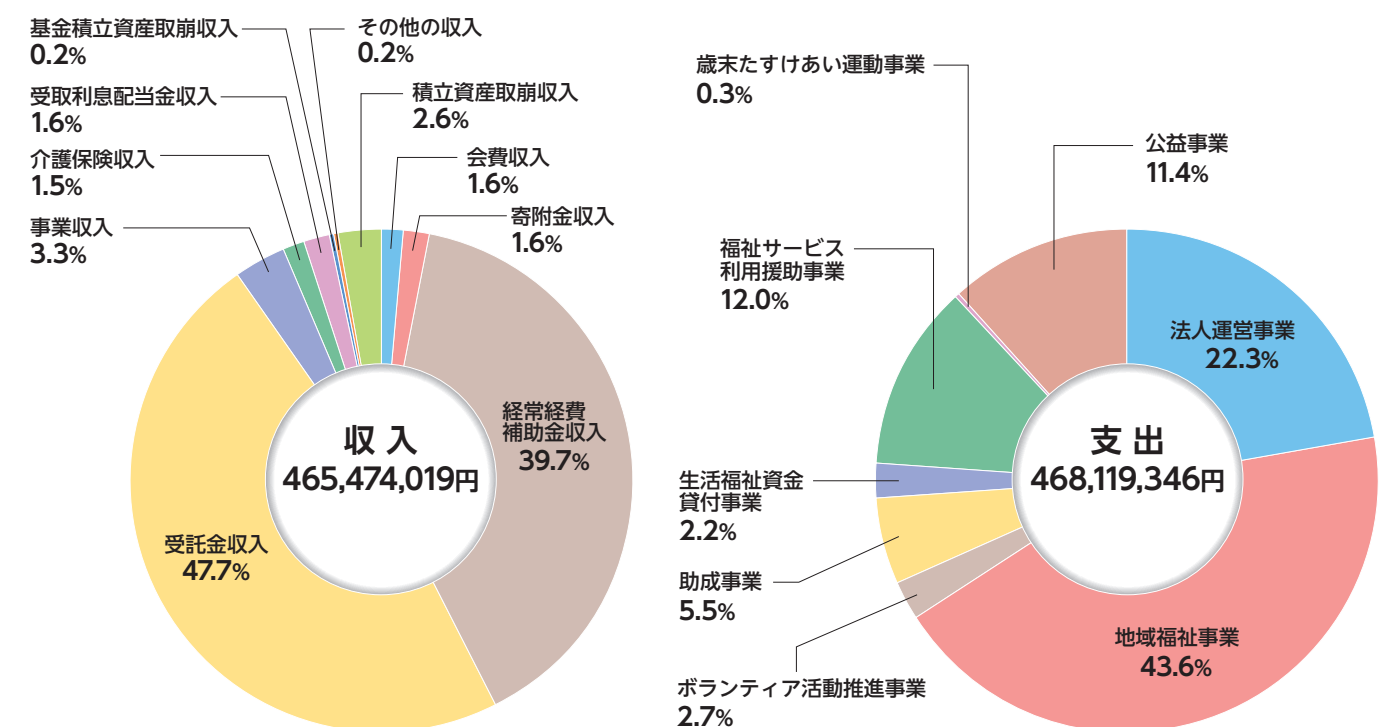
豊島ボランティアセンターでは災害ボランティア育成の一環として、多様な視点で災害活動に取り組む講座や要配慮者や多様な人の支援を考えるワークショップを開催しました。また、豊島区池袋駅周辺帰宅困難者対策訓練にグループ参加することでボランティア同士のつながりづくりと防災啓発を図りました。更に、城西ブロック社協において、災害ボランティア協定に伴う協働事業の検討及び情報交換会を実施しました。

今後も防災・減災に関する知識を共有する場をつくり、緊急時に協力・応援が行えるネットワークづくりに努めます。そして、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等の訓練を行うことで関係機関や地域団体との連携も進めていきます。

平成30年度 決算の概要

収 入	
収入科目	収入金額（円）
会費収入	7,533,000
寄附金収入	7,333,338
経常経費補助金収入	184,813,321
受託金収入	222,030,325
事業収入	15,196,732
介護保険収入	6,951,268
受取利息配当金収入	7,437,439
基金積立資産取崩収入	1,051,738
その他の収入	981,484
積立資産取崩収入	12,145,374
合 計	465,474,019

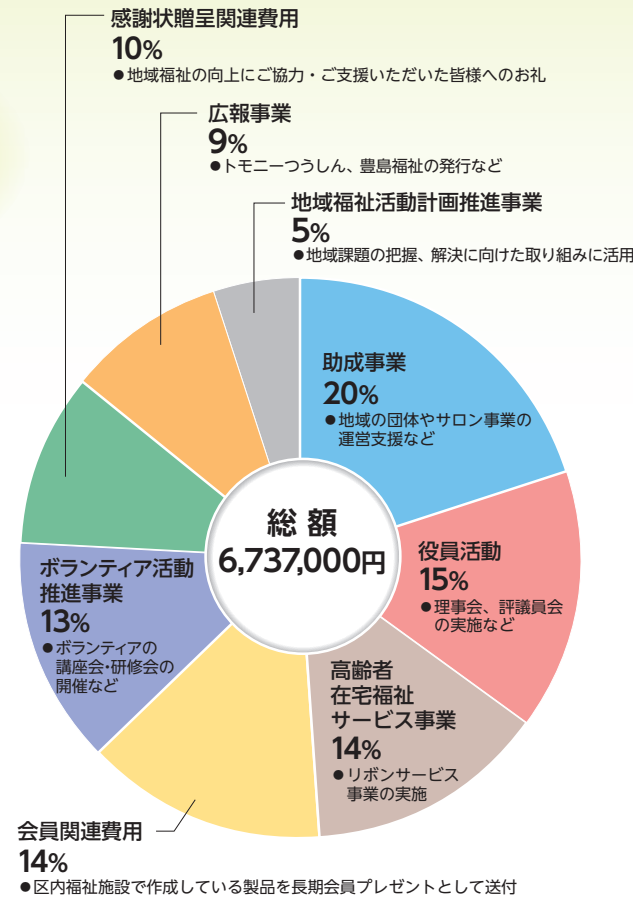
支 出（事業運営経費）		
事業別区分	支出金額（円）	主な事業内容
法人運営事業	104,358,417	◇事務局機能 ◇理事会、評議員会等運営 ◇感謝状贈呈 ◇活動計画推進事業 ◇広報事業 ◇成年後見制度利用促進基金
地域福祉事業	204,225,370	◇緊急支援事業 ◇親子ふれあい助成事業 ◇リボンサービス事業 ◇ハンディキャップ運行事業 ◇困りごと援助サービス事業 ◇ふくし健康まつり ◇コミュニティソーシャルワーク事業 ◇生活困窮者自立支援促進事業 ◇生活支援コーディネート事業 ◇東日本大震災被災者支援事業 ◇リフト付乗用自動車運行事業 ◇高齢者元気あとし事業 ◇受験生チャレンジ支援事業
ボランティア活動推進事業	12,868,202	◇ボランティアセンター運営事業 ◇ボランティア活動推進PR事業
助成事業	25,693,393	◇障害者施設・団体等事業助成 ◇給食ボランティアグループ助成等
生活福祉資金貸付事業	10,184,518	◇教育支援資金、福祉資金、総合支援資金等の貸付事業
福祉サービス利用援助事業	56,153,270	◇地域福祉権利擁護事業 ◇法人後見・社会貢献型後見人活用事業 ◇社会貢献型後見人養成事業
歳末たすけあい運動事業	1,171,580	◇歳末たすけあい運動事業
公益事業	53,464,596	◇中央高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）運営事業 ◇ひとり暮らし高齢者アウトリーチ事業
合 計	468,119,346	



皆様の会費が 地域福祉の充実に つながります

平成30年度の会費は、総額673万7千円でした。皆様から頂いた大切な会費は、以下のように活用させていただきました。

- 地域で活動する団体やサロンの経費の一部を助成し、活動の促進を支援しました。
- 区民ミーティングを実施し、サロン運営や防災活動、多世代交流など、様々な地域活動につながる支援を行いました。
- 高齢の方、障がいのある方、ひとり親家庭の方など、日常生活において支援を必要とする方に、家事援助・声かけ等を行う有料在宅福祉サービスを提供しました。
- 会報誌「豊島福祉」や広報誌「トモニつうしん」の発行、ホームページの運営等で、地域福祉情報の共有化を図りました。



社協の助成金を活用して、 地域のつながりに役立てています！

(地域福祉活動費助成事業)

昨年度は142件の障がい者施設・団体等の地域福祉活動に対し11,046,500円の助成を実施いたしました。数ある活動の中から活用事例をご紹介します。

長崎小ムジーク♪フェスト～身近で楽しめる♪ みんなで行ける♪オーケストラ♪ (長崎小学校 おやじの会)

子どもたちにクラシックの生音楽を間近に聴いてもらい音楽の楽しさ素晴らしさを知るきっかけづくりとして開催。曲の間に各楽器の解説や子どもたちに指揮者の体験をしてもらうなど、ただの演奏会に留まらず親しみやすい音楽会となっています。車イスやベビーカーでの鑑賞もでき地域における多世代交流に貢献しています。



安心・安全まちづくり～新入学児童お祝い(北大塚一丁目睦町会)



交通弱者と言われる高齢者・子どもの交通事故対策に課題を感じている町会の取り組みとして、新一年生を中心に交通事故から“自らの身を自身で守る”ための講習会開催。この企画を通じ、町内の融和を図ることも意図しており課題意識を深めるきっかけになっています。



地域の活動

豊島区で行われている地域の活動をご紹介します。

雑司が谷 すすきみみずく保存会

郷土玩具 「すすきみみずく」を未来へ

歌川広重の浮世絵にも描かれた雑司ヶ谷鬼子母神の郷土玩具「すすきみみずく」。後継者不在で存続の危機を迎えました。これを後世に伝えるために2010年に保存会が発足。会長に鬼子母神堂を有する法明寺の近江正典住職、副会長に長島秀臣さんはじめ制作の要としてものづくりが得意な方々を据え活動が始まりました。



▲ ボランティア総会



▲ すすき刈り 長島副会長



▲ 刈りたてのすすき

材料となるすすきの調達は毎年豊島区の姉妹都市である秩父市へ、総勢60有余人のボランティアが出勤します。毎年秋に約2万本のすすきを刈ります。また、刈ってきたすすきの皮むき、天日干し、みみずくを吊るす竹刈り、制作工程で必要となる目、嘴、耳（羽角）等の制作、そして製品作りもすべてボランティアで行っています。

また、年に一回、区立南池袋小学校の4年生にみみずく作りの体験学習を行っており、毎年四苦八苦の末の個性的なみみずくが完成します。一般の方向けには月に一度（休月あり）事前申込制で材料費負担¥1,000を頂いて、製作講習会を開いています。

地元の人々が中心の保存活動でしたが、現在ではその輪が遠方からのボランティアに広がり、さらに秩父市、豊島区の協力も不可欠となっています。これらすべてがあって伝統を守り続けていくことができます。皆さんに感謝！



▲ 出荷を待つみみずく



▲ 南池袋小学校児童たちの講習会

社協新キャラクターの 名前が決定しました!!

区内の学習会や区民ひろばなどを利用している469名の子どもたちの投票により、名前が決定しました。これから、社協の仲間として、ふくじいとともに様々な場面で登場します。ご期待ください。

『ふくみん』の
イメージ

ふくじいの孫娘。
周りの人に笑顔をはこび
明るい女の子。
ふくじいと一緒に町に出かけ、
探検しながら発見したことを
お友達や近所のみんなに
教えてくれます。

ふくみん



『ふくみん』の
由来

福祉の「ふく」に
柔らかい音を合わせた名前。
「福祉をみんなが支える」が
名前の由来ですが、
「幸福な区民」という意味も
込められています。

プロフィール

誕生日：5月19日
(豊島区民社協に名称を変更した日)
好 物：さくら餅
チャームポイント：
くりんとした前髪とポニーテール
好きなこと：
探検・宝さがし・ふくじいとのパトロール

ご存じですか?

受験生チャレンジ支援貸付事業のご案内

高校、大学に入学した場合返済が免除される制度です!!

対象者		中学3年生又は これに準ずる方	高校3年生又は これに準ずる方
貸付 金額	塾 代	200,000円 (上限)	200,000円 (上限)
	受験料	27,400円 (上限) ・1校あたり23,000円まで ・1度の貸付で4回分まで	80,000円 (上限)



*準ずる方とは、中学3年生または高校3年生に在籍していない進学を目指す方（高校・大学等中途退学者、高校認定試験合格者、浪人生等です。）

申請には、諸条件があります。ご遠慮なく下記までお問い合わせください。

〔ご相談受付締切日：令和2年1月24日(金)〕

総務課貸付担当 **03-6388-0055**

豊島区民生委員児童委員協議会の活動紹介

豊島区内に6地区の民生委員児童委員協議会（巣鴨・池袋東・池袋西・高田・長崎第一・長崎第二）があり、各地区で取り組んでいる活動などを紹介しています。

民生委員・児童委員活動 普及・啓発パレード

5月12日（日）、民生委員・児童委員による普及・啓発パレードが新宿通りで行われました。約1,500人の民生委員・児童委員と23体の社協等のキャラクター、大学生の吹奏楽団が参加し、「みんなでつろう 地域のつながり 支え合い」をテーマに、新宿伊勢丹前からアルタ前までを歩きました。地域の中で住民の身近な相談相手として、日常的な見守りや相談・支援、関係機関への橋渡しなど、地域福祉の推進のために、民生委員・児童委員の活動をPRしました。



◀ 豊島区民社協キャラクター「ふくじい」もパレードに参加。



▼ 小池都知事が「一日民生委員・児童委員」として参加しました。



出張子育てサロン

5月10日（金）に「出張子育てサロン」をとしまセンタースクエアで開催しました。これは豊島区で現在行われている“東アジア文化都市2019豊島”のパートナーシップ事業の一つとして、民生児童委員が主催・運営している子育て中の親子の交流の場「としま子育てサロン」を外国の方々にも体験していただき、多文化交流による新たなつながりを創出することを目的として行われました。



世界中の子どもの願いが叶うようにと思いを込めて、日本語・中国語・韓国語で「きらきら星」を皆で歌った後、“木のおもちゃ”や“ボールプール”、“パラシュートバルーン”などで自由に遊びました。



▲ 民生委員さんが「ふくみん」を作ってくれました